

★第3次安倍内閣三政権が、当面の景気を下支えすると称し「緊急経済対策」を閣議決定。「個人消費のてこ入れ」と「地方経済の底上げ」が目玉ですが、国民の消費が落ち込んでいるのも、地方の景気回復が遅れているのも、「アベノミクス」が破綻し、行き詰まっているため、大企業優先の「アベノミクス」を中止し、暮らし優先の経済政策に転換することこそ最優先です。

と な み

旗 読者のひろば

日本共産党
砺波市委員会
西尾 英宣
千代 180
Tel 33-6118

【安倍政権の年金切り捨て大暴走】

暮らし・地域経済を圧迫

「年金は下がるばかりで消費税や物価は上がる：この先が心配」「年金から介護保険料など引かれるばかりで困る」といった声が、どこでも聞かれます。

その結果、月一〇万円の年金の人は、額面でも九万八三〇〇円に下がっています。

実質年金額は

六%も減少

安倍内閣のもと、「特例水準の解消」（過去の物価下落時に、物価にスライドして年金額を下げなかった）という名目で、一昨年十二月振込分から一・〇%、昨年六月振込分から〇・七%、あわせて一・七%の年金削減が強行されました。これは自公による「三党合意」に基づくものです。

いま、高齢者の家計は消費税増税やアベノミクスによる物価上昇の直撃を受けています。現役世代の「実質賃金」と同じように、物価値上がり分を考慮した「実質年金額」を計算すると、安倍内閣が成立した二〇一二年十二月との比較で、昨年九月時点の年金は六%の減少です。月六万四〇〇〇円の

基礎年金なら四〇〇〇円、月一〇万円の年金額であれば六〇〇〇〇円の実質減・目減りです。

際限なき年金削減に

すすむ安倍内閣

安倍内閣は、物価の大幅上昇のなかで「マクロ経済スライド」を初めて発動させ、年金の「目減り」をさらにすすめる方針です。

そのうえ、物価が下がった場合にも「マクロ経済スライド」を発動させる新たな仕組みの導入や、支給開始年齢の先送りなど、さらなる年金削減案も検討しています。まさに、際限なき年金削減です。

国民年金未納率四割

国民の年金不信

年金保険料の引き上げ、給付削減、支給開始年齢の先延ばしなど、歴

代政権が年金制度の改善を繰り返すなか、国民の年金不信が広がっています。

現役世代では、国民年金保険料の未納率が四割に達し、免除者や未加入者も含め、保険料を払っていない・払えない人が一千万人を超えるなど、制度の「空洞化」が進行しています。

高齢者でも、年金を一円も受給していない人が一〇〇万人にのぼり、国民年金の平均受給額が月五万円に満たないなど、無年金・低年金問題は深刻です。

安倍政権の際限なき

年金削減は、高齢者の貧困をますます深刻化させ、「年金なんてあてに出来ない」という国民の年金不信を拡大し、年金制度の存立基盤を根底から崩しかねないものです。

日本共産党は安倍内閣の「年金削減」に反対

日本共産党は、安倍政権の年金切り捨ての大暴走を阻止するために力を尽くします。

年金削減計画を中止し、低額年金を底上げして「減らない年金、頼れる年金」への転換をすすめ、最低保障年金の導入による無年金・低額年金問題の根本的解決を目指します。

財源は消費税に

頼らなくても大丈夫

こうした改革に必要な財源は、消費税に頼らず、①歳出の浪費を一扫し、富裕層・大企業への優遇を是正する ②応能負担の原則にたつて所得税の累進課税を強化する、という二段階の税・財政改革によって確保することが可能です。

★防衛省は2015年度予算案の軍事費について、過去最大の約4兆9800億円(当初予算、14年度比約2%増)とする方向で最終調整に。国民に消費税増税と社会保障の削減を強要し、それによって生じた財源を軍事費に還流させている形です。国民生活を犠牲にした安倍政権の軍事大国路線が浮き彫りになりました。

【ただのつぐやき】

4日 鷹栖六区新年会

宴席で「安倍政権の緊急経済対策どうなの？」とさかれました。暮らしが圧迫されるなか、少しでも助かるというご意見だったのですが、「しよせんバラまきにすぎないでしょ。目

先のごまかしで、けつきよく暮らしが圧迫されるばかり」とこたえました。「農業はもうダメでしょ」の声も。「集落営農にしないと」とのご意見でしたが、集落営農にしたところで、いまの農政では先が

行き不安を感じておられるのだな、と。

7日 県党新春のつぐやき

藤野やすふみ衆議は、「今日は高浜原発稼働反対の申入れを行なっているが、富山のつぐやきを優先しました。現地から、『申し入れに地元の人衆議院議員の名前があるとないとでは大違い』と言われる、この北陸信越の議席の重みをあらためて感じています。地方議会とも連携があれば、何倍もの力になります。一緒に力を尽くしましょう」と訴えられました。身近な国家議員の存在は本当に嬉しいことです。

朝八時半に作業をしていただくご婦人たちがそろって来られ「明けましておめでとうございます」と挨拶をさせていただいた時には、しっかり仕事モードになつていましたが、昨年と変わらず元氣にお手伝いをしていただけるのは有難いことです。

昨日のテレビのニュースで、インターネットサイトに「仕事に行きたくないよ」との書き込みが朝から急激に増え始め、午前八時に劇的なピークを迎えていました。とのコメントがありました。普通生活に戻るとスウィッチはネクタイを締める時に入るのか、通勤に向かうマイカーのエンジンのキーを回すときになのか、会社の門をくぐる時か人それぞれなのでしょうが、私の場合は小麦粉団子を潰して円盤状にするために、楽延機の黒いボタンを指で押し込む瞬間です。

二月に企画している地元体験ツアーで大門素麺と農家レストラン大門を訪ねたいとの事で、その打ち合わせにみえたのですが、その企画が「本日の北日本新聞に載っています」って本当!? 問い合わせが相当の数で寄せられてどう対応しようかと思案しているとの事でしたが、改めて特産のブランドに關わっていることを自覚させられます。ふさわしく守り育てて繋いでいく、その為の足跡を残せる一年にしたいと思えます。

となみ

2015新春の集い

■と き 2月1日(日) 11時~15時
(お風呂は10時から入れます)

■と ころ 福祉センター「北部苑」
(砺波市林 1202 ☎33-6633)

■会 費 1,000円 (飲む人プラス1,000円)

■内 容

<第1部>ビデオ鑑賞、挨拶

<第2部>食べて、飲んで、おしゃべり。クイズ等

どなたでも参加できます

主催 新春の集い実行委員会 ☎33-6686 (西尾)

【続 きんごの 日誌】

(何でもお気軽にご連絡・ご相談ください・多田携帯 090-3369-8216)

6日 明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。今日は素麺の仕事初めです。毎年、長い休み明けの初日は、機械の不具合がないだろうかと、作業場が冷

えていていつもの通りに伸びてくれるだろうかとか心配するのですが、事無く終える事ができました。朝にも昼にもお酒が入る「あり得ない生活様式」に慣れたところで、一気に当たり前の生活に戻るこの瞬間の気分は独特のもので、日常に戻るために懸命に自らと闘っているのは私だけでは無く、たくさんのお仲間が居られるようです。

昨日のテレビのニュースで、インターネットサイトに「仕事に行きたくないよ」との書き込みが朝から急激に増え始め、午前八時に劇的なピークを迎えていました。とのコメントがありました。普通生活に戻るとスウィッチはネクタイを締める時に入るのか、通勤に向かうマイカーのエンジンのキーを回すときになのか、会社の門をくぐる時か人それぞれなのでしょうが、私の場合は小麦粉団子を潰して円盤状にするために、楽延機の黒いボタンを指で押し込む瞬間です。